

# Medi-Wave<sup>メディウェーブ</sup>ひょうご

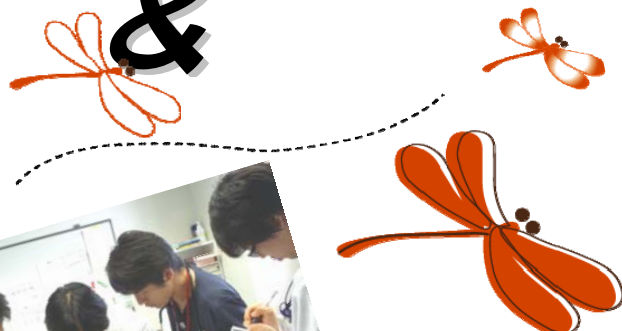
For medical students magazine 2011

10

October

& november

&



この夏、たくさんの医学生が兵庫民医連の病院・診療所を訪れました。

いのちの生まれる現場に立ち会えた人、懸命に生きる方たちと向き合った人。実習をとおして、いのちの大切さや医師として何が出来るのかを考えてくれたようです。

→実習報告は4ページへ



## CONTENTS

- |     |                   |       |                              |
|-----|-------------------|-------|------------------------------|
| 2 p | 1 年目研修医密着レポート     | 1 4 p | 海外医学部レポート                    |
|     | 尼崎医療生協病院 出口 惣大 医師 | 1 5 p | 紙上討論会 「Medi-Wave 白熱教室」       |
| 4 p | 夏実習報告特集           | 1 6 p | 大人気! cross-words パズル         |
| 6 p | 医学生レポート           | 1 7 p | 読者のつ・ぶ・や・き...                |
|     | 全国医学生のつどい         | 1 8 p | 奨学金制度ご案内/かんたん <i>Cooking</i> |

1 0 p サマーセミナー報告

1 2 p いのちの生まれる現場

～産婦人科で働く人たち～

☆兵庫民医連ホームページでは、『Medi-Wave ひょうご』のバックナンバーもご覧いただけます。

兵庫民医連 医学生 で 検索

# 出口先生に会いに行こう！

～初期研修医のある1日をご紹介します～



## Profile

出口 惣大 医師

大阪府出身

2011年 徳島大学医学部卒業

大学時代の部活 ラグビー部

4月から尼崎医療生協病院で初期研修開始。

初めまして。一年目研修医の出口惣大です。僕は2011年4月から兵庫民医連の尼崎医療生協病院で初期研修を開始しています。現在は内科の研修を行っています。尼崎医療生協病院は、その名の通り尼崎市にある199床の中小規模の病院です。内科の研修は救急も含めると9ヶ月間みっちりあり、診療科を問わず様々な疾患の患者さんを担当できるので、毎日非常に有意義な研修を受けられるのが『この病院で働きたい』と思った理由です。

今回は、医学生や医学部を目指している高校生みなさんに、これから踏み出そうとする医療の現場で研修医がどのような一日を送っているのか、簡単に紹介したいと思います。



## ～初期研修医1日密着（2011年9月）～

### ●朝学習 (研修室)

8:10～8:50

内科研修中は朝礼の前に学習会があります。学習テーマは心電図学習、英語文献での Case Study、EBM 学習会などがあり、その他にも毎回違ったテーマを学習するコアレクチャーがあります。今日は輸液講義で、仮定の患者さんに対する輸液メニューを自分で作成しました。輸液は突き詰めると奥が深くて難しいです。



### ●医局朝礼 8:50

### ●回診 (内科病棟)

9:00～9:30

主に看護師さんと一緒に、問題のある患者さんに関してディスカッションを行います。



### ●診察 (内科病棟)

9:30～

フリーの時間は自分の担当患者さんの診察をします。病状が落ち着いていない患者さんはもちろん診察をしながら治療方針を考えていきますが、落ち着いている患者さんでも要望などを汲み取らないといけません。安定期の具体的なマネージメントとしては、点滴や尿道バルーン、鼻カニューラをとれないかどうか、食事メニューの変更は必要かどうか、また外出できるかどうか、ADL はどうかなどを考えています。

先生、今日は散髪に行きたいねん・・・。



ちょっと心配だけど・・・  
気をつけて行って



外来指導中の指導医にこっそり相談にもいきま





空いている時間に全員の患者さんを回るのはちょっとしんどいです。でも、高齢の患者さんは薬物マネージメントが非常に難しく、闇雲に増やすと必ずといっていいほど副作用がでます。なので、毎日の診察で状態を把握することが不可欠です。また時間に余裕があれば世間話で結構長い時間しゃべっています。



● 昼食休憩 (食堂)

11:50~

今日はちょっと早いです。でも、空いた時間にさっさと食べないと食べ損ねます(笑)。お腹が減るのでご飯食べますが、血糖が上がると眠くなるのが辛いです。個人的に、昼食の時は結構複雑な心境です(笑)



今日は研修担当事務の池田さんと一緒に昼食です。体調や研修について気づかってくれます。

● カルテ書き (内科病棟)

13:00~



僕は、まとめてカルテは書きます。細かい方針は、指導医の先生と相談します。

● 病棟回診 (内科病棟)

14:30~



全員で回診を行います。担当以外の患者さんから勉強することもありますし、自分のプレゼンの勉強にもなります。患者さんを知らない先生も、その患者さんの状態を描くことができるようなプレゼンがいいらしいです。。。



Q. HOTとは・・・?  
在宅酸素療法のこと。呼吸器などの病気が原因で、体内に酸素がうまく取り入れられなくなった場合に、自宅で酸素供給機から、必要時もしくは常時、酸素吸入を行う方法。

● HOT 患者会 1 泊交流会実行委員会

15:30~



こんな会議もあります。今日は結構忙しい。

● 学習会

16:30~

患者さんの移乗のレクチャーを、リハビリスタッフさんから教わりました。コツを掴むとかなり楽で、目からウロコのレクチャーでした。



腰痛めそお・・・

● 当直

17:30~



研修室で一人検食をいただきます。今日はどんな患者さんがくるだろうか・・・。



Q. 検食とは・・・?  
患者さんへの食事を提供する前に、適切性・安全を確認すること。

この日は 2 次救急輪番の準夜当直でした。最近はやっと前に出て診察できるようになりました。ほんとにいろんな患者さんがやってきます。毎回焦るのですが、指導医の先生が、かな〜り後ろから見守ってくれているので安心かな(笑)。家帰せるか帰せないかと、その晩を乗り切るために何をすればいいかというのが時間外救急のミソらしいです。この日は21時以降に4人の患者さんに対応して、終了です。



研修医ブログもぜひのぞきに

兵庫民医連 医学生 で検索してね☆

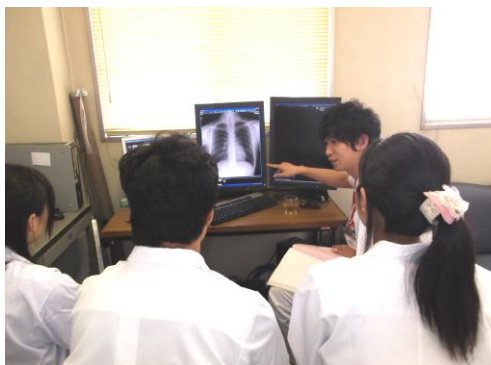
一年目研修医 1 日密着、2 人目の登場でした☆いかがでしたか? 日々奮闘する研修医の姿がわかっていただけでしょうか。医学生のみなさん、是非出口先生に会いに来てください! 紙面では伝えきれない現場の醍醐味を体感して欲しいと思います。みなさんに会える日を楽しみにしています(^O^)/

# 2011年 夏の實習みんなの感想特集



今年も全国各地から、兵庫民医連の夏実習にたくさん参加していただきました。ありがとうございました！

新1年生の病院体験から、6年生の進路選択をかけた研修医体験まで、それぞれの希望に沿った実習を、研修医と指導医、その他の医療スタッフ、地域の患者さんが協力して作り上げていく民医連の実習に、みなさんも参加してみませんか。そして、あなたが求めている「医師像」を、探してください。



**全国の大学から参加してくれました！**

**富山大学・岐阜大学・福井大学・滋賀医科大学**

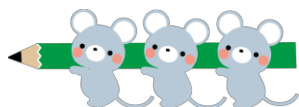
**近畿大学・大阪市立大学・大阪医科大学**

**関西医科大学・神戸大学・兵庫医科大学・鳥取大学**

**岡山大学・福岡大学・長崎大学・フレーベン医科大学**

井場先生にレントゲンの見方や、聴診器で心音・呼吸音を聞かせてもらいました。医療に関わる技術は「慣れ」が必要とよく聞きますが、その通りと思いました。病棟で実際の肺炎の患者さんを聴診して、正常との違いを教えてください、すごく興味深かったです。

二日間お世話になりました。おしゃっていたように「地域に根ざした医療」を見ることが出来ました。私が考える医療のカタチとそう遠くないものと思います。すごく参考になりましたし、大学の勉強のモチベーションも上がりました。今回、初めて外の病院実習にきた訳ですが、様々な病院・診療所の現場もみたいと思うようになりました。再び、民医連系の病院にお世話になる日も近いかも知れません。この実習に誘って頂いた先輩、私の実習プログラムを組んで頂いたスタッフの皆さん、あ



本学以外の病院に触れる機会が今までなく、今回、実習に来て視野が広がった気がします。一年目の先生でも、患者さんを任されて、自分でアセスメント・プランを考えながら診療に当たり、出来ることは次々にやっていくというスタンスは、初期研修を考える上で非常に参考になりました。次回は、検査、内視

研修医の一日の流れを教えてください、とても参考になりました。忙しい中、動脈採血の方法なども丁寧に教えてください大変勉強になりました。診療所往診を見せて頂くのは初めてだったので、多くの事に気づき、学ぶことが出来ました。在宅の患者さんを診るに当たり、看護師やご家族、ヘルパーさん等の存在が重要と改めて思いました。先生、看護師が患者さんの訴えを十分に聞いておられるのが印象的でした。本当に沢山の事を体験し、勉強になる事の多い充実した一日でした。盛沢山の実習を作って頂いた先生方、スタ



ホスピス病棟、ホスピス往診を実習しました。ホスピスの患者さんは、死期が迫っているのは確かな事だけど、最後まで生きようとされているんだと感じました。そのような人達を支えるホスピス医療は、人生の最後を決めるとても重要な役割を担っていると感じた。患者さんにも家族にも、治療・処置を行う上でどうして欲しいのかを聞き、その人らしさを維持したまま、最後まで一瞬一瞬を大切に生きていける様に配慮された医療が提供され



今回、初めて外病院を見学させて頂いた。大学病院の先生達とは違い、皆さん暖かく様々な事を丁寧に教えて頂いたので、少し外病院に興味が出てきた。呼吸器についても優しく教えて頂き、僕が話した事を聞いた上で間違いを指摘してくれるので、何が間違っているのかが理解できた。



見学時に立っている場所が邪魔にならないように気を付けました。患者さんを目の前にして戸惑いましたが、同じ目線で微笑むと、患者さんも微笑んでくれたように思いました。

救急で腹部の外傷を見たとき、大丈夫かと思いました。縫合時に胸に圧迫感を感じ、退室しましたが、気分が悪いとは違う不思議な感覚でした。明日の手術見学が心配ですが、出来る範囲で頑張りたいと思います。往診は私の家族とリンクする所があって、真剣でした。往診先が、とても暖かいご家族、ご夫婦で感動しました。私の家で

産婦人科は、自分が患者としてかかったことがない科なので、どんな所だろうと思っていました。胎児の体重は、エコーで身長と頭の大きさを計り、数値を当てはめるとわかると聞き、びっくりでした。田村医師が「妊婦は病気をしている訳ではなく正常な状態だから、そこが他の科と違う所だね」おっしゃった事が、印象的でした。エコーで赤ちゃんの顔が見られたのが感動でした。退院される方の幸せそうな顔が

胆嚢摘出のオペを見学して、解剖で学んだもの何一つ分からなかったのもう一度勉強しようと思いました。CVC挿入も見学しました。先生のように動いてないので、実習を終えてすごく疲れてしまったので、体力をつけなければと思いました。

次回は、産婦人科のオペを見学したいで

### 実習の申し込みについて

- ↑全学年が対象です。白衣・聴診器をお持ちの方は持参してください。
- ↑参加費は無料です。実習に関する交通費は自己負担でお願いします。
- ↑食事はこちらで準備します。
- ↑お申し込みは、メールまたは電話でお願いします。

◇Mail [igakusei@hyogo-min.com](mailto:igakusei@hyogo-min.com) ◇フリーダイヤル(無料) 0120-404-310

↑ホームページからの申し込みもできます。 → [兵庫民医連 医学生](#) で検索

みなさんの参加お待ちしております☆



# 第32回医学生をつどいレポート

福岡大学 2年 黒田明日香

医学生をつどいとは、毎年夏に全国の医学生が集まり、自分が将来どういう医師になるのか、いま日本ではどのようなことが起こっているのかを学んだり交流する中で深めていくビッグイベントです。今年、「震災と復興」をテーマに、医学生、医師・看護師などの医療スタッフを合わせ442人が集まりました！

『医学生をつどい』って何だろう？」

「なんだか全国の医学生が滋賀に集って『震災と復興』について学びたいだよ…。」

私は名ばかりの実行委員で、つどい本番がわたしのつどいデビューでした。

とにかく『つどい』はハマる人がいるくらい楽しいものだと聞いていたので、ワクワクしながら湖西線に乗って滋賀へ出掛けました。



1日目の講演の様子 その①

右も左もわからないまま会場に着いてみると、たくさんの人に目が眩みました。普段は人見知りなんてしない私も、さすがに400人もの初対面の人ごみの中ではガチガチです。

「これのどこにハマるねん！3日間やってけるかなあ…」

数時間前までの気持ちとは一変、不安でいっぱいになりました。

そうこうしているうちに、東日本大震災に関する講演とシンポジ

ウム、スモールグループディスカッション、交流会がありました。なんだか1日目は心ここにあらずだったので記憶が曖昧です。

そんななかで心に残っているのが、阪神淡路大震災の時にパジャマのまま無我夢中に病院へかけつけ、医療を行っていた医師がいたということでした。ご自身も被災されているのに、入院患者さんや救急外来でやってくる患者さんを優先されるということは素晴らしいことだけれど、私とその立場だったとしたら、同じことができたでしょうか…とってしまいました。

医師をそのように夢中で病院へかけつけさせたものは一体何なのだろう？

そんなことがずっと頭によぎっていました。



講演の様子 その②

2日目は神戸市長田区でフィールドウォークをしました。つどいに参加するまでは、「長田といえば鉄人！鉄人って復興の証みたいなもの？」とっていました。しかし実際にフィールドウォークをしてみて、目の前に飛び込んだのはシャッター商店街でした。JR新長田駅の近くの大型ショッピング施設には観光客が集まるけれど、駅から離れた商店街までは人があまりやってこないのだそうです。鉄人28号や、きれいに建て直された商店街の建物があっても、そのなかに人がいないのであ

れば復興だとは言えません。

そんな商店街の活性化について様々な話し合いがなされているようです。そのなかで、長田のまちを一周するバスに興味を持ちました。高齢者や身体の不自由な方が商店街で買い物をするのは困難です。そんな方々のために、バスが商店街や病院を經由して長田のまちを1周するのです。このバスが運行し始めてから、それまで買い物にいけず、おしゃれも出来なかったおばあさんが口紅を塗り始めたそうです。なんて素敵なお話！

鉄人プロジェクトの方々はアートで長田を明るくしようとしました。ある人は長田一周バスを考案しました。商店街の方々はお店を出されています。バスの運転手はバスを運転されています。病院の帰りにバスに乗った人は途



たかとり教会、震災の展示室

中、商店街で買い物をします。おばあさんは商店街で買い物をされます。まちを愛する人がいて、そのまちの復興について話し合いを重ね、試行錯誤を繰り返しながらそのまちの人々の笑顔が少しずつ増えていく。ゆっくりでいいから、大好きな地域とそこに住む人々がそれぞれにできることをするということが大切なのだと感じました。

そうやって地域の人々と日常で触れ合う習慣があれば、震災などの緊急時にもお互いのことを知っているので対応しやすくなるだろうと思いました。

「あ！そうだったのか！！」

私の1日目の疑問が解決されました。医師は、日頃から地域の人々との交流があったから、震災で「あのおばあさん足が悪かったけど大丈夫かな？」

「妊婦さんがいたな…」「入院患者さんが気になる」など、地域の人々の生活を思い出して病院へ駆け込んだのではないだろうかと考えました。そんなこんなで、またまた滋賀に戻り、スモールグループディスカッション、大交流会がありました。

このころには、自分の将来の医師像についてぼんやりと考えがまとまってきたように思います。ただ優しい医者さんなんかじゃなくて、患者さんの生活の背景に目を向けられる医師、広い視野を持った医師、やわらかい頭で臨機応変に考えられる医師。持ち前の明るさと笑顔で、地域の方々や医師同士、看護師さんやコメディカルの方々といろんなお話をしながら、お互いに信頼しあえるような関係性をたもつことのできる医師になりたいと思いました。

3日目には、不安や緊張の糸もほどけ、つどいの楽しさにどっぷりつかっていました。最初は正直、だまされた…と思っていましたが、つどいでは自分の考えを言葉にまとめるチカラがついたように思います。

「つどいって、いかにも真面目そうで難しそうで私にはハードルが高いなあ。」「真面目で、志の高い優等生だけが参加するんでしょ。」そんな風に思う人は多いと思います。私は真面目くさいことが苦手です。難しいことはわからないし、わからないことはわかりません！でも楽しいことはめっちゃ好きです！

つどいに初参加するとき、最初はみんな一見真面目そうな雰囲気、劣等感や不安でいっぱいになることと思います。心ではいろいろ思っている言葉に出すのが難しかったりするかもしれません。しかし、次第にそんな空気に自然に打ち解けて、交流会では友達がたくさんできて、なんかちょっと青春を謳歌している医学生と出会って、「わたしも何か新しいことに挑戦したい！いろいろな経験がしたい！」「普通の大学生活で終わっていいのか自分？」「日常生活が何か物足りない！」…というように思ってしまうようになるかもしれません。

もちろん医学部だから、大学生活では医学の勉強を疎かにすることは出来ません。

しかし、心を養うことは医学の勉強と同じくらい大切なんじゃないか、この夏でわたしはそう思いました。

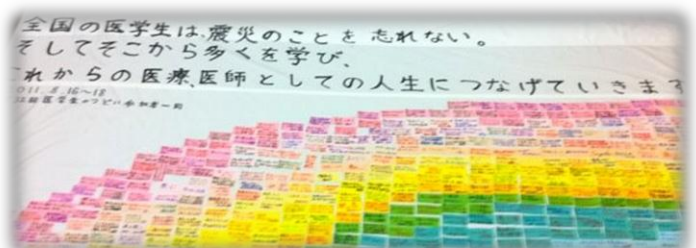
これってもしかして、教えられていたとおりのわたしもつどいマジックにハマっちゃったのかも？



長田 FW 後に鉄人前に 442 人が大集合！



2日目の長田FWの様子。  
(丸五市場)



つどいの最終日には、被災地に届けるメッセージを虹のタペストリーにしました。

# 第32回医学生をつどい

2011年3月11日の東日本大震災から約5か月が経った8月16日～18日の3日間、滋賀県に192人の医学生が集まり、「震災と復興」について学びました。今年の1月から始まったつどい実行委員会では、“今回の震災からより多くのことを学び、議論し、それをこれからの将来に還元していくことが医学生として今できることであり、学ぶことが長期的な支援にもなりうるのではないか”という意見にまとめ、開催に至った経過があります。

3日間を通してどんなことを学んだのか、参加学生さんの感想も交えながら報告したいと思います。

## 1 日目 ☆ 学習講演 & シンポジ

「災害弱者、復興災害などのキーワードがすごく新鮮でショックだった。」(産業医大3年)

### 〈学習講演〉

「東日本大震災で求められた General Mind」 宮城県 坂総合病院 ER科 佐々木隆徳医師

東日本大震災発生時、災害拠点病院である宮城県坂総合病院での救急救命活動…患者さん1人につき30秒で重症度を判断するトリアージポストに立った研修医、そこで求められた医療とは？震災2日後には避難所にも医療チームを派遣し、全国の民医連の病院からの応援を受けて、56,325人の治療を行った。現在、宮城県民医連では災害により顕在化した弱者への医療提供、避難所での健康相談、仮設住宅でのコミュニティ形成など、緊急医療だけにとどまらないことに取り組んでいる。



- ・坂総合病院の地震直後の様子など、患者さんの疾患や特徴や人数など具体的な話は状況がよく伝わった。(金沢大2年)
- ・佐々木先生の、震災が起こった時の医療活動についてはもちろん、特に「地域で求めている医療ができる医師」という言葉を胸に刻んで、これから頑張ろうと思います。(神戸大6年)

### 〈シンポジウム〉

「神戸から東日本大震災の復興を考える」

「東日本大震災の復興～現状と課題～被災者への公的給付制度～」

全日本民医連会長・神戸健康共和会理事長	藤末 衛 医師
神戸大学工学研究科・工学部教授	塩崎 賢明 教授
日本弁護士連合会災害復興支援委員会副委員長	津久井 進 弁護士
兵庫県震災復興研究センター事務局長	出口 俊一氏



東日本大震災の東北、関東沿岸にわたる広域な被害は、人、住まい、生業から生活基盤、自治機能に及び、救援や復旧の遅れを招いた。さらに福島第一原発の災害による複雑かつ長期間にわたる被害、今後の問題点とは。また阪神淡路大震災との比較と教訓。

3・11以降の医師のあり方と養成。家庭医・総合医か専門医かのどちらかではなく、今後は疾病の治療者から患者の健康権実現



の担い手としての成長が求められること。また震災によって顕在化した、社会的弱者を考え、復興災害の概念、復興支援法とは何なのか？これから求められる真の社会保障と税の一体改革と環境保全。地域循環型経済を考え、経済原理主義の果てに起こった大震災からの復興には、人と環境のための持続可能経済と社会保障、その担い手づくりが必要。「地域の人々には何が必要か」を考え、行動する医師が求められている。



- 医師だけでなく、各分野の専門家を招いてのシンポジウムは初めてだったので、視野が広がり考え方も変わった。(獨協医大4年)
- 特に法律のことを学べて新しい視点が持てた。神戸の震災から学ぶことも大切だと思いました。震災後の政策が被災者の意見をくみ取れていない現実を知りました。被災地のみではなく、周りの私たちも声を上げていかなければならないと思いました。(富山大3年)
- 「復興＝終わり、完成」というイメージがあったので、いまだに阪神淡路の被災者が復興災害に見舞われているというのがオドロキだった。(産業医大3年)
- コミュニティという言葉が何度も出てきて、被災者の方のことを考えるとき、この言葉抜きには決して話は前に進まないのだと感じた。(北海道大3年)
- 医療の側面だけでなく、法制度、仮設住宅といった多方面からこの大震災を考えることができよかったと思う。(山形大5年)

## 2日目☆リレートーク&長田フィール



### 〈リレートーク〉

神戸市会議員・森本氏

神戸の冬を支える会・青木氏

阪神淡路大震災被災者ネットワーク・安田氏

kobe 鉄人 project・岡田氏

大阪医学生ミーティング報告 (HAT 神戸震災復興住宅訪問)

「フィールドワークでは商店街の現状、復興の現状を目の当たりにし、思っていた復興の形とのギャップを感じることができた (山形大5年)」

市政から見る阪神淡路大震災の復興事業の問題点。長田区の西部副都心計画で街がどう変化したのか。地域コミュニティの崩壊により、震災後の16年で孤独死が900名以上という現実。実際に復興住宅に入居されている被災者からのお話を伺い、東北では地域住民目線の復興が求められていること。震災をきっかけにホームレスが増加。倒産、失業、生活保護、健康だけでなく、社会的な問題が顕在化した。医学生には想像力を持ってもらいたい。



- リレートークで阪神淡路大震災の復興がどのように進んだか理解することができた。誰のための復興なのかをよく考えて東日本大震災での復興をしなくては本当にいけないと思った。(山形大5年生)
- 実際に神戸の街並みを見て、最初はきれいな街だなと思ったけれど、街の中を回って、住民の方の話を聞くと、いまだに復興しきれていないということがわかった。(宮崎大3年)
- 自分が幼いころに起こった阪神淡路大震災のバックグラウンドに、あれだけの市民のたたかいが隠れていたことに衝撃を覚えました。外見はとても美しくなっていた神戸が内面ではどれだけ復興が進んできたのか。まだまだ復興の途中だということを知りました。(神戸大6年)
- 阪神の方は、補償0のところから運動を続けて様々な支援を勝ち取ってたくましいと思った。震災に苦しみ、さらに苦しんでいるのが悲しいと思った。「見える復興、見えない生活」。現地の凄絶な状況がわかった。(琉球大6年)

## 3日目☆まと

2日間の学びを経て、つどいのテーマである『震災と復興』、理想の医師像について深めました。班ごとに様々な問題意識を共有し、自分ならどう考え、どう行動するかを具体的に出し合いました。今後、震災が起きた時にどう行動するのか？地域ではどういう医師が求められるのか？今後、日常で求められるものは何か？活発な議論が繰り広げられました！



つどいの報告は、「兵庫民医連・医学生のページの職員ブログ」でも発信しています！  
ぜひホームページもご覧ください☆

# サマーセミナー 2011

テーマ  
憲法

～いのちの大切さとは～

8/27～28で、毎年恒例のサマーセミナーが尼崎医療生協病院にて行われ、しっかり学びたっぶり交流した充実の2日間となりました☆ 読者のみなさんにもダイジェスト版でご紹介したいと思います！

## スケジュール

〈1日目〉

- 10:00 学生発表
- 10:15 MSW 講演 (多田安希子氏)
- 10:45 質疑・応答
- 11:00 グループディスカッション
- 11:30 昼食休憩
- 12:30 FW 出発
- 14:30 感想交流
- 15:00 医師講演 (小川智氏)
- 16:00 グループディスカッション
- 17:30 終了
- 19:00 夕食交流会
- 21:00 大交流会

〈2日目〉

- 9:00 学生発表
- 9:30 ウィンターセミナーに向けて
- 11:30 感想文記入
- 12:00 終了

に亡くなられた。この方の死は、この人のせいですか?」「命に関わることが、本人の社会的条件で左右される現実をみなさんはどう思いますか?」などの問いかけ。また、「聞き取りするにあたっては、今日協力していただける方は、みなさんと同じ社会で生きている人、ごく身近にいる人として、『話を理解する』のではなく、『感じてほしい』」との多田さんからのメッセージ。多田さんからのお話は、聞き取りをする上で、深く心を揺さぶられる内容でした。

今回のテーマは「憲法～いのちの大切さとは～」。“直接患者さんの話を聞きたい”“学生のうちから患者さんの社会背景、生活背景を考えられる医師になりたい”という学生の思いから出発したこの企画のメイン内容は、①患者さん宅訪問で、聞き取りをする。②地域で日々患者さんに向き合っている医師のお話を聞く。という企画になりました。今回の企画リーダー学生から、「患者さんの“背景”を憲法の視点から考えられるように」「視野を広げ、社会に目を向けられるように」「最低限の生活とはどのようなものかを考えまとめる」という目標が発表され、企画が始まりました。

まずは、尼崎医療生協病院で医療ソーシャルワーカー (MSW) をされている多田安希子さんから、患者さんからの聞き取りをするにあたってのアドバイスをいただきました。

「尼崎医療生協病院のすぐ裏に住んでいる患者さんが、病気が見つかった時には手遅れで、入院してから半年も経たず



4つのグループに分かれ、患者さんへの聞き取りをスタート。聞き取りをさせていただいた方から、「路上で生活していて、5年くらい前から体の変化にも気づいていたが、医療費を払うお金がなかった」「人間関係が苦手で、今まで職を転々としたが、正規雇用で安定した生活を送りたい。家族関係もどうにかしたい」「40年間医療費を払い続けていて生活が厳しく、無料低額診療事業を利用しているが、薬代が高い。今後の生活を考えると不安になる」など、医師のたまごである医学生に語っていただきました。また、「話を聞き出してくれる医師になってほしい」「患者さんの身になってくれる医師になってほしい」という期待の言葉や、「医師や看護師などの医療従事者がもっとゆったりと患者と関わるための診療報酬制度にしていけないと、私たちの願いもかなわない」などの意見も聞かせていただきました。





聞き取りのあとは、医師講演。東尼崎診療所所長の小川智先生からお話を伺いました。

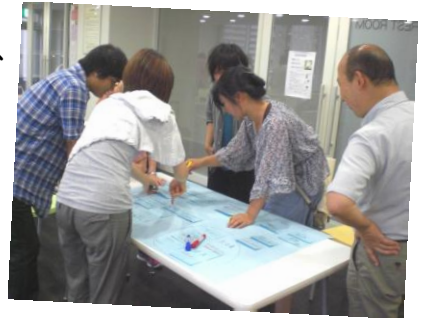
まずは、これまで歩んでこられた先生の経歴をユーモア交えながら紹介していただきました。現在は診療所の所長として、“いかに患者さんの医療負担を軽減できるか？”を考える日々…とのことでした。役所では教えてくれないこともあきらめずに自分で調べ、患者さんに還していく、という信念。法律も医療制度も、知っているのと知らないのでは、全く違うし、理論武装することの大切さについて熱く語られました。



## 医学生の感想

### 🍌 MSW・多田さんの講演

- \* 誰一人として同じ境遇の人はなく、生活で困られた経緯も様々で、相談者に一番近い立場の MSW の方からのリアルなお話を聞いてとても考えさせられる講演でした。
- \* 様々な人の生き方を聞いてみて、こういう人生が自分とは別世界のことでないということを知り、人が生き、幸せに暮らすことは何なのかを考えさせられました。
- \* すごく引き込まれるお話で大変刺激を受けた。生活保護を受けておられる方、医療にかかるお金が捻出できない人は、何も特別不幸な人などではなく、自分たちにも身近な問題であると改めて感じた。



### 🍌 患者さんの聞き取り

- \* 1 時間半も医学生の私たちにプライベートで話しづらいお話をしていただける機会をいただき、とても貴重な体験をさせていただきました。一人ひとりの背後にある story に目を向けることの大事さを改めて実感しました。
- \* 話して下さった N さんは気さくな方で、すぐに緊張がほぐれました。費用の面でも、一人で抱え込む介護の面でも辛かったことを MSW に相談することで、変わったことが多かったと話して下さったのが印象的でした。役所は積極的に助けてくれないのだなぁと思うと、国の政策・国民が受けることのできる権利は何なのか…といろいろと考えさせられた。

### 🍌 小川医師講演

- \* 患者さんを金銭面で助けるために、一生懸命制度のことを勉強されている先生の姿がとても印象的でした。どんなことでもあきらめず努力を継続することの大切さを先生の経験を通じて感じました。とても面白いためになる講演でした。
- \* 「やっぱりお金なんですよ」とおっしゃった小川 Dr の言葉は的を得ているなあとうなずいてしまった。食事の心配をしない、病院に安心してかかれる、住む場所がある。。。こういった心配もお金があれば多くは解決する。どこからお金を確保するのか。消費税として国民に負担させるだけの安直な方策ではない具体案が沢山あるような気がしてならない。



## サマーセミナーって何??

サマーセミナーとは、夏休みを利用して、ひとつのテーマに沿ってみんなで学習する企画です。企画を通して、参加者同士が意見交流する中で自分の医師像を深めていきます。将来医師を目指すにあたって、医学的知識だけではなく、多くの社会的知識・真実を見極める観点を養っていく企画として、医学生自身が興味のあるテーマ、学びたいテーマを出し合い、企画化しています！次回は、ウィンターセミナーに向けてこれから準備します☆ぜひ、みなさんも参加してみてくださいね☆

# いのちの生まれる現場

## ～産婦人科で働く人たち～

みなさんは、産婦人科にどんなイメージを持っていますか？まさに「いのちの生まれる現場」でしょうか？尼崎医療生協病院では年間560人の新しいいのちが誕生しています。たくさんのいのちの誕生と出会う他にはない現場です。

今回は産婦人科で働く医師と病棟師長さんに登場していただきました。今回は、長年尼崎医療生協病院で助産師として働かれている丸本さんにお話を伺いました。



### 『妊娠・出産が喜びになるように』



いつもそう思って働いています。

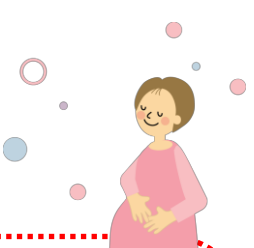
私は現在の尼崎医療生協病院ができる前のナニワ診療所の時代から、助産師として働いていました。

当時の松岡所長、高木婦長さんは基本的に忠実な医療をされており、「すごいな～」と思っていました。診療所は妊婦さんとの距離が近くて、本当に妊娠から子育てのところまで関わっていました。

また自然分娩だったので、分娩までの経過を見ることができ、助産師としても勉強になりました。

### ☆母児同室を実現☆

母乳育児をすすめてきました。母乳がでて、それを飲む赤ちゃんが変化する。そのことでお母さんも変化する、自信が生まれる。その人にあったやり方（生活や仕事のスタイルなど）があるので、それを一緒に見つけていくこと。それがプロの仕事だと思います。これまでで一番嬉しかったことは、母児同室を実現できたことです。今では普通になってきましたが、以前はお母さんと赤ちゃんが別々にいました。母児同室はお母さんと赤ちゃんが自由にできるし、母子ともに安心できるというメリットがあります。ぜひ尼崎医療生協病院の産婦人科でも実現したいとお願いし、研修にもださせてもらい、1995年にスタートさせることが出来ました。これまでも、自然分娩で悪いお産はしてきていないとの思いはもっていましたが、あと他にお母さんに役に立つことは何かと考えて母児同室を実現したいと思いました。



母乳は赤ちゃんにとって必要な全ての栄養素を供えた「完全食品」と言われています。成長に必要な栄養素のみならず、様々な病気やアレルギーから赤ちゃんを守る免疫物質も含まれています。また、授乳時にお母さんと触れ合うことで、赤ちゃんの精神的な発達にも大切な影響を与えているとも言われています。母乳による育児は、お母さん方の身体を守る役割も果たしています。母乳育児には、次の妊娠を抑制する効果があります。

妊娠・出産によって疲れた母体が、次の妊娠に必要な体力を十分回復するまでの間、お母さんの身体を、妊娠のリスクから守ってくれるのです。

### ☆助産師外来はじめました☆

医師の負担を軽減する意味もありましたが、分娩を迎える妊婦さんに知っている顔がいることで安心感を与えられるという意味で始めました。30分ほどかけてお話を伺います。食事のこと、貧血のこと、お産に対する心構えなど、相談には何でものります。妊婦さんには「心が軽くなった。」と言っても

らっていて、始めて良かったと思っています。

ここ最近の妊婦さんを見て感じることは、栄養状態も変わってきたというのがありますが、以前とは妊婦さんの状態（体）が変わってきたように思います。難産も増えているのも気になります。

## ☆安心して子育て出来る社会をつくること☆



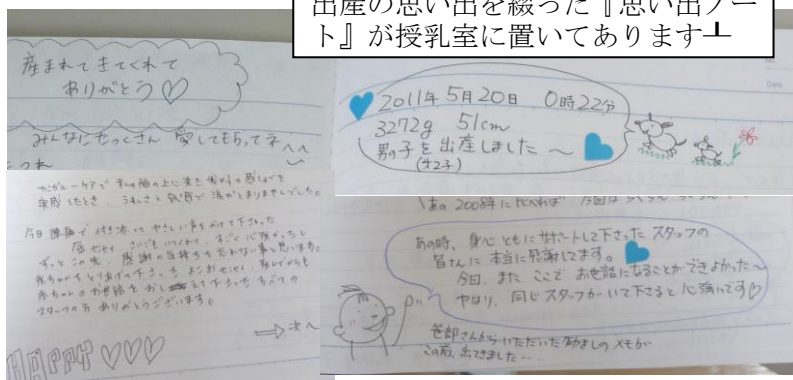
尼崎医療生協で初のカルチャー教室「子育て応援ひろば」が8月5日にスタートしました。今回のテーマは「赤ちゃんマッサージ」。4ヶ月から11ヶ月の赤ちゃんを連れてお母さんたちが丸本助産師の指導でベビーオイルを手にぬってマッサージ開始。赤ちゃんと目を合わせてマッサージすると、気持ちよさそうに笑顔を見せて和やかな雰囲気でした。

以前の尼崎市は保育所や学童保育がたくさんあって、お母さんが仕事をしながら子育て出来る環境がありました。今はそのような環境がつぶされてしまって。さらに、核家族化が進み、近くにおばあちゃんがない方も多いため、すぐに相談出来る人がいないので、お母さんが子育てに不安になるのも当たり前だと思います。そういう不安が子育てにも影響してきます。1人で子育ては出来ません。だからこそ色々な人が助けしてくれる仕組みをつくらないといけません。尼崎医療生協では、そういった子育て支援を広げようとしています。「子育て応援ひろば」というカルチャー教室を始めました。子育ての話、離乳食の話、赤ちゃんマッサージ、ヨガ、救急の話。自分たちが出来る形で取り組みました。参加したお母さんからもすごく喜んでもらえました。これからも地域と連携をとりながらお母さんを支えていきたいと思っています。

**ぜひ実際の医療現場を見に来て下さい！**

**みなさんにお会いできることを楽しみにしています☆**

出産の思い出を綴った『思い出ノート』が授乳室に置いてあります！



## 産婦人科で実習した学生の感想

☆生命の誕生する瞬間を目にしたのは初めての経験だったので衝撃的でした。赤ちゃんがとりあげられた後、お母さんとの面会の時に、お母さんが流した涙が印象的でした。(高知大学1年生)

☆エコーで赤ちゃんの顔が見られたのが感動でした！！妊婦健診のためにビデオを持ってきて「録画してください」とおっしゃった方の表情が印象に残っています。また授乳室に置いてある思い出ノートに書いてある文章が、どれも思いのこもったものばかりで「出産ってなんかいいなあ」と思いました。(福岡大学2年生)

☆今まで思っていた産婦人科のイメージ(すごく訴えられる・人手不足・閉鎖的etc...)が変わった。何事もイメージだけで片付けるのではなく、実際の現場に飛び込んでいこうと思った。(プレーベン医科大学4年生)

☆分娩見学がとても印象的で感動した。胎児娩出・臍帯の切断・胎盤娩出・産後までの流れを見学できて良かったです。(兵庫医科大学5年生)



産婦人科のお仕事が伝わりましたか？産婦人科のお話は今回でおしまいです。「次はこの科の話が聞きたい！」など、みなさんのご意見お待ちしております！(編集部)

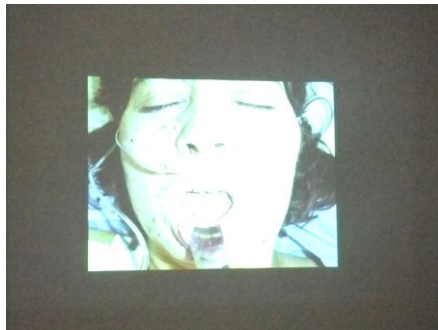
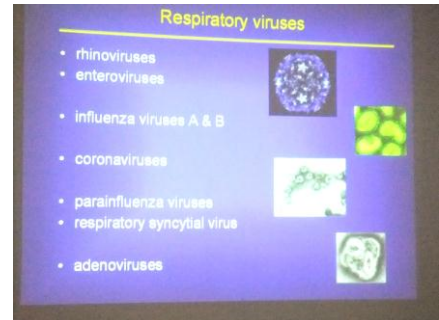
# SSくんのEUブルガリア ブレーベン医科大学在校生レポート

EU加盟国ブルガリア・ブレーベン医科大学に在籍する医学生 SSくんのレポート。ではどうぞ！

## 呼吸器科の授業

呼吸器科は今期の試験科目ではありませんが、来期4年生後期の終了時に行われる「内科全般」の試験の中に該当する小科目として課せられます（来期、呼吸器科という科目での試験はないようです）

スライドはできるだけ絵やグラフを用い、飽きない工夫を先生がしてくださっているので見やすいです。右のスライドでは呼吸器に悪い影響を及ぼすウイルスの名前を紹介しています。先生によっては授業で使ったスライドを下さいますが、くれない先生もいます。呼吸器科の先生はくれません（笑）ですから毎回、授業中にデジカメでパチリパチリと撮っています。



患者さんの様子です。口内の異常を確認します。クラス授業では実際自分たちが患者さんと接しますが、今日レポートで紹介しているのは全体授業の様子です。この患者さんは、講義してくださっている先生が担当している患者さんです。スライドにして病状などを解説してくださっています。

4年生になると本当に出席を取りません。ただ先生方はやはり生徒の顔を覚えているので、授業が全て終了し、学期終わりのサインをいただく時（ブルガリアの大学では、毎学期、各先生から学期終了のサインをもらうことになっています）出席率の悪かった生徒には「君は誰かな？ 来期も同じように低い出席率でサインをもらえらると思うなよ」と言いながらサインを書いていた。私はというと、いつもコーラを机の上に置いていたので「ああ、コーラの子か（笑）」と言われてサインをもらいました。名前が「コーラの子」になってしまっています。

## 病理学の標本紹介

病理学は3年生前期までで基礎を、4年生前期までで応用を習い、科目自体は今学期で終了となります。しかし覚える量が膨大なので、大変です。右の写真は腸間膜と腸の標本です。黒くなっているのは壊死を起こしているのですが、



パッと見て答えられなくてはなりません。こんなの、いきなり見せられても「…蛇？」とか思いそうですよね。



病理学では「顕微鏡による病理プレパラートの試験」と「病理標本の試験」あと「筆記口頭試問」の3つからなっています。しっかり勉強して知識をつけることは自分が将来医師として働く時の土台となるものなので、気合いを入れて臨みたいと思います。

左は肺の標本で、癌を伴うものです。今回は2つ紹介しましたが、この他にも沢山の標本があり、非常に興味深いです。

現在、ブレーベン医科大学に通うSSくんは異国の地で勉学に励んでいます。

続々とレポートが届いていますので皆さん乞うご期待！

たくさんのハガキをありがとう！  
それでは意見を見てみよう★

# 『Medi-Wave』

## 白熱教室 第4回



ミンデル教授



今回のお題は…

## 「医師と患者の恋愛関係はアリかナシか？」

前回とはまったく雰囲気が変わった質問で、ビックリしたかな？ だが、みんな気になるところではないだろうか。さっそくハガキが返ってきている。みんなの意見を見てみよう！

### <アリ>

★恋愛に年の差や身分や人種や（性別さえ）問うのは愚問だと思います。もちろん、医師と患者の恋愛もありでしょう。でも、知人のケースでは、結婚後あまりうまくいってないみたい。どの恋愛もですが、結婚と恋愛は違う部分があるからよく考えなきゃね。（ルンちゃん）

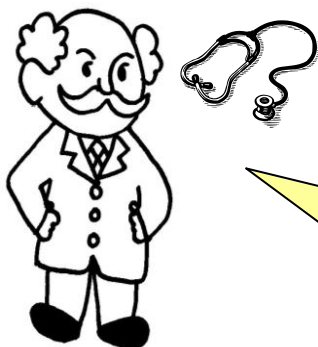
★人の気持ちは理性や常識観念などで抑えられるものではないと思うから。もしかしたらその気持ちが病気に対してプラスに働くかもしれないのでアリ。（GUMI）

★私は医師と患者の恋愛はあっても良いと思います。とはいうものの、それはお互いが純粋な気持ちである時にのみ許されると思います。容姿やお金など、本当の愛情以外のもので結びつく関係であればそれは否定されるべきです。恋をした人なら誰でも一度は、どうして好きになったかわからないけれど確かに好きだと感じる不思議な気持ちを体験したことがあるはず。性格が良くて、優しく、頭が良くて…など、後から理由付けができて、それらの条件がそろったからといって必ずしも恋に落ちるわけではありません。その事を考えると、医師と患者の関係であっても所詮は人と人との関係であり、外来や入院などで対面する時間が増え、いつの間にか恋愛感情が芽生えていた…ということになっても不思議なことではなく、自分の意志とは無関係に、どうにもこうにも避けられないことがあると思います。教師と学生の恋愛と同じように、世間からは問題視されるかもしれませんが、どの患者さんにも誠心誠意尽くして平等に診られる先生であれば、周囲の理解も得られると思います。

個人的には、純粋な気持ちでの恋愛であれば、職業に関係なく、周りはあたたかく見守ってあげてほしいなと思います。ただ、そうはいつでも、患者と医師双方には、世間の厳しい目があるということを常に意識し、誰に見られても恥ずかしくない、きちんとしたお付き合いをすることが求められると思います。（アリー）

### <ナシ>

…こちらの意見はありませんでした。



このお題についての意見、まだまだ募集中だ！  
<ナシ>意見を持っている人、上の意見についての意見がある人、  
などなど…ぜひ聞いてみたいものだ。  
待っているぞ～！

# Medi-Wave CROSS-WORDS

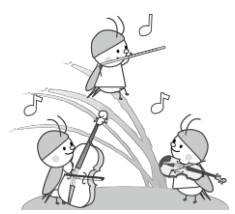
ようやく涼しくなってきたと思ったら、台風の被害が…。奈良や和歌山で大きな被害が出ました。「災害は忘れたころにやってくる」ので、自分でできる対策はとっておきましょう。



＝答え＝ ○○○○○○○○

## → よこのカギ

1. 冬のおホーツク海沿岸に流れ着く。
7. 夏の果物。
8. イギリスの首都。
9. コンピュータの父。○○○型コンピュータ。
11. 雌牛。乳牛のことを英語で。
12. 労働3権の一つ。
15. 日本語の五十音。
16. アオリイカの別名。
19. いたずら、悪ふざけ。
20. 震災と原発事故で最も被害甚大な県。
22. 朝鮮王朝の有名な儒者。第一次朝鮮出兵で捕らえられ大阪に来る。
23. 皮膚のすぐ下。



1	2	3	4	5	6
7			8		
	9		10		
11			12	13	14
		15			
16	17				18
19			20	21	
22					23

網掛けの8文字を並べ替えると答えになります。正解者には抽選で図書カードを進呈！！同封のハガキに答えを書いて送ってくださいネ。

クロスワードの締め切りは2011年11月末日までです（当日消印有効）

## ↓ たてのカギ

1. 栗鼠。
2. 婚約成立のしるしに、金銭または品物を取り交わすこと。
3. まわり道、遠回り。
4. 鹿児島県最南端の島。隆起サンゴ礁からなる。
5. 「○○がいい」「○○の尽き」
6. 砥石車を高速で回転させる機械。グラインダー。
11. 手術の他にペインクリニックも扱う診療科。
13. 聴診器を発明した医者。
14. 木星の第一衛星。
15. 人に会った時や別れる時に交わす。
17. 悪賢い、こすい。
18. 双子葉植物の科の一つ。種子やそれを絞った油は食材にする。
20. 前1～5世紀に中国東北地方から朝鮮半島北部で活動したツングース系の民族。
21. 個人が負担・支出する費用。

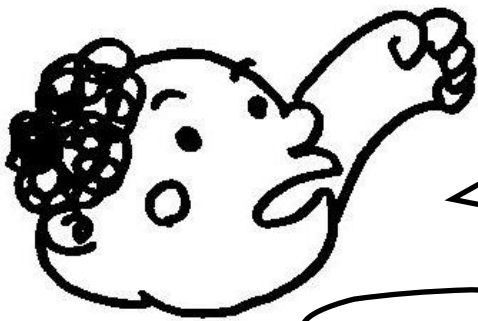


<ヒント>  
東北産の作物が被害にあっています。国民も正しい知識を持つことが求められています。

サン	シ	ヤ	イン	ビル
イ	ソク	ガ		ー
フ	エ	ウ	リ	ト
	シ	ノ	サ	カ
ア	ウ	ソ	イ	ケ
カ	イ	ロ	イ	ワ
ヒ	ト	ウ	メ	グ
ゲ	コ		イ	サ

\* 前号の答えは「インゲヒサイシヤシエン」でした。





「読者のつぶやき…」略して??

どくつぶ〜♪

まだ半そで着てるかー  
半そではぼちぼち寒いどー

今回、クロスワード難しすぎ…。

ペンネーム GUMI

難しかったかあ〜。

これに懲りずにまたチャレンジするんだど〜☆

初めて「Medi-Wave ひょうご」を見させていただきましたが、とても（非常に）役立つ情報があり、かつ、楽しめてとても良い！と思います!!!

ペンネーム ERになりたい少年

ありがとー(\*´▽`\*) これからも読者のみんなのためになる情報を発信していくどー!!! 応援よろしくな〜☆

Cooking の紹介がこれから一人暮らしをする者にとって、とても参考になります。“超”簡単で安くて、栄養のあるものをこれからもドンドン紹介してください。

ペンネーム ルンちゃん

安い！簡単！これはとても重要だなー(#´.´#) 今月のかぼちゃの揚げ物は難易度高いかな？でもチャレンジしてみしてほしいどー☆

私は、ドクターコールでは医師には手を挙げてほしいです。その医師の専門か専門ではないのかにかかわらず、“医者”という存在が患者に安心を与えることができると思います。

ペンネーム sun-child

安心感を与える存在…たしかにそうだなあ。医師の役割を改めていろんな角度から考えさせられるど。

夏が終わりました。あと、残り3ヶ月程度。まずはセンター試験ですね。頑張りましょう。

ペンネーム サクラ

日に日に涼しくなり気持ちのいい季節がやってきたなー。毎日自分との闘いで大変だと思うけど、体調を崩さずに頑張るんだど〜!

もうすぐ被災から半年が経ちますが、まだまだ東北の人たちは助けを必要としているはず。急げ被災者支援!

ペンネーム ヒョウタンツギ

ほんとだな。被災者の生活再建は何よりも優先してほしいな。

🍷 ハガキの返信どうもありがとう！いつもみなさんからの返信を楽しみに編集員一同頑張っています(-^o^-) ぜひ、学校でいま話題になっていることや、興味のあること、こんな記事載せて！などのリクエストがありましたら、返信はがきに書いて送ってね〜☆

# 奨学金貸付制度のご案内

## 奨学生制度の主旨

民医連の奨学金制度は、卒業後、民医連の医療活動に参加しようとする医学生の要望に応じて経済的援助を行うことを目的としています。

## 制度のあらまし

### ☑返済の免除

民医連の病院・診療所で貸与期間と同期間勤務された場合、返済が免除されます。

### ☑奨学生になったら…

奨学生は、将来の民医連の医療を担う医師となるため、医学・医療の勉強に励むとともに民医連綱領をはじめ民医連の行っている「患者の立場に立つ医療活動」を学びます。また今の医療をめぐる様々な諸問題を含め、広い視野をもった医師として成長していけるよう幅広い学習に取り組みます。

具体的には、①民医連の病院実習に参加、②奨学生会議に参加、③民医連が主催する学習会への参加、などです。

## 手続きについて

申請を希望される方は、下記の兵庫民医連・医学生担当までご連絡ください。申請手続き等について説明します。申請書類は所定の申込書・所定の契約書・履歴書などです。



### 奨学金の月額

1・2年生	50,000円
3・4年生	60,000円
5・6年生	70,000円

## 兵庫民医連栄養科が薦める



# かんたんCooking



\*今回のメニューは、東神戸病院 管理栄養士 真保亜衣さん からの薦めです。



## ハロウィンにぴったり

## 「かぼちゃとツナの揚げギョーザ」

- ① かぼちゃは皮をむき、ラップに包んで、電子レンジで約2分加熱し、熱いうちにつぶして裏ごしする。
- ② かぼちゃ、ツナ缶、マヨネーズ、塩コショウ、チーズを混ぜ合わせる。
- ③ ギョーザの皮のフチに水をつけ、②を包む。
- ④ 180℃の油でギョーザを揚げる。

☆出来上がり☆



### 材料1人分

かぼちゃ・・・80g  
ツナ缶・・・1/4缶  
マヨネーズ・・・大さじ1/2  
塩コショウ・・・少々  
粉チーズ・・・20g  
(ピザ用チーズ 大さじ1/2 でもOK)  
ギョーザの皮・・・6枚  
揚げ油

■発行：兵庫県民主医療機関連合会 〒650-0047 神戸市中央区港島南町5-3-7

フリーダイヤル(無料)：0120-404-310 FAX：078-303-7353 Mail：igakusei@hyogo-min.com